



〈学校だより〉

ともそだち

令和7年9月1日 諏訪市立城南小学校 No.6

「これからの学校」

29日間の夏休みが終わり前期の後半がスタートしました。夏休み明け初日には、夏休み中に作成した作品を両手に抱えて登校する子どもたちの姿がありました。その作品は、各教室の廊下に展示され、自分の作品はもちろん友達の作品をじっくり鑑賞する子どもたちの姿もあります。

さて、その子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しており、その変化に伴い学校の在り方も問われています。私は「これまでの当たり前」をもう一度問い直しながら、不易流行の学校経営ができればと考えています。

この学校だよりもその1つです。以前は紙に印刷されて、子どもたちの手で保護者の方に届けられていました。しかし、今はこのような形で配信されています。ホームページにもアップしながら学校の今をお知らせしています。ご覧いただけているか心配になることもあります。今月号では、そこを確認するとともに、この夏、気になっていたことについて、アンケート回答いただければと思います。これも、今の時代だからできる方法です。次のGoogleフォームからご回答ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

URL → <https://forms.gle/xEToy8Hn8KsGYiRbA>

QRコード →



連絡

＜今後の予定＞

- 9月 3日(水) 避難訓練③
- 12日(金) 就学時健康診断・検査
- 16日(火)～22日(月) 5時間授業
- 21日(日) みんなで本を読む日
- 24日(水)～30日(火) 個別懇談会
- 10月 1日(水) 1、2年校外活動日
- 2日(木) 4年社会見学
- 3日(金) 3年社会見学
- 8日(水) 諏訪地区学校と授業を考える会
- 10日(金) 前期終業式、後期始業式
- 19日(日) みんなで本を読む日
- 25日(土) PTA作業
- 29日(水) 音楽会

城南NOW



☆『休み時間』(8/27)

2時間目が終わった後の長い休み時間。ボランティアルームでは、コミュニティ・スクールのみなさまによる、毎月2回の「ふれあいタイム」が行われていました。お手玉、トランプ、すごろくなど、楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿が印象的でした。

【文責：校長 高寺 威】



53年前の火災を教訓に

「自分たちの学校の出来事」 城南防災の日



8/29 付
長野日報
より抜粋



「城南防災の日」に合わせて設置されたコーナーで
火災に関する展示を見る児童

諏訪市城南小学校は、1972（昭和47）年8月24日に同校で発生した火災を教訓にするため、毎年8月24日を「城南防災の日」に定めて防災意識の高揚を図っている。中学校で起きた火災の様子を伝える写真や作文を展示しているほか、28日には当時5年生だった金子敦さん（63）＝同市＝を招いて体験を語ってもらった。53年前の火災を「自分たちの学校の出来事」として身近に捉え、火災の怖さと訓練の大切さを改めて学んだ。

（丸山智永）

写真や作文展示

火災発生は午前中、給食室天井裏から出火して2階の5教室を焼いた。金子さ（動して全員けがなく無事だんは2階で算数の授業を受けた）と備えの大切さに触れていたという「煙が上つて、火事だけでなく、地きて、先生が『火事だ！』と叫んだ。促されて廊下で並んだけれど、怖くて仕方なかった」と火災発生時の様子を語った。「校庭に避難し校舎を見ると真っ赤な炎と煙がすごかった。ランドセルや教科書が燃えてしまつて、明日からどうなってしまうのだろうと、悲しさと不安がこみ上げてきた」と振り返った。

「避難訓練をしていたお室天井裏から出火して2階の5教室を焼いた。金子さ（動して全員けがなく無事だんは2階で算数の授業を受けた）と備えの大切さに触れていたという「煙が上つて、火事だけでなく、地きて、先生が『火事だ！』と叫んだ。促されて廊下で並んだけれど、怖くて仕方なかった」と火災発生時の様子を語った。「校庭に避難し校舎を見ると真っ赤な炎と煙がすごかった。ランドセルや教科書が燃えてしまつて、明日からどうなってしまうのだろうと、悲しさと不安がこみ上げてきた」と振り返った。

体験者、備えの大切さ訴え



53年前の城南小の火災について語る金子敦さん

を教えていただいた」と述べ、「学校や地域で行われる訓練に今日の話を生かし、自分の命を守るように勉強していきたいと思います」と児童に呼び掛けた。

同校では講演のほかに、毎年「城南防災の日」に合わせて「城南防災の日」に合わせたコーナーを昇降口近くに設けて当時の火災を伝えている。燃え盛る校舎や屋根が焼け落ちた校舎の写真や、避難の様子や市の支援への感謝をつづった児童の作文が並ぶ。焼け残った教科書や、「学校が燃えちゃった」と泣き叫ぶ児童の様子を報じた南信日日新聞（現長野日報）のコピーも展示し、「実際に学校で起きた事」として子どもたちに訴えかけている。真剣な表情で展示を見ていた5年の柳瀬拓馬さん（10）は「火災は怖い。防災訓練は真剣にやらないといけない」と話していた。